

令和4年度 学校経営計画書

岡山県立邑久高等学校

○本校のミッション(使命、存在意義)

幅広い知識と教養を培う複数学科を有する高校として、多様な進路希望に応えるとともに、特色ある科目選択を設定し、地域等と連携した課題解決型学習や専門的な学習等の教育活動を通して、社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

○学校内外の環境分析

- 1 生徒は素朴で真面目であり、地域学、部活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組んでいる。部活動についてはヨット部等が全国大会でも活躍している。
- 2 生徒の進路は大学等進学から就職まで多様である。また1人1台端末が導入されたこともあり、教職員共通認識のもと、より一層の授業改善や指導体制の強化が必要である。
- 3 保護者、同窓会、地域ともに本校への期待感は強く、支援体制も充実している。特に令和2年度より、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設置され、地域の要望に応えた、地域と連携・協働した学習活動を積極的に展開している。地元の中学校からの志願者数増加に向けて、魅力づくりをさらに推進し、それらを積極的に発信し続けていく必要がある。
- 4 地元の中学生数は減少傾向であり、交通の便が比較的良好なことや近年の私立志向などがあり生徒募集に苦慮している。生活ビジネス科が全県学区であることもあり、東備学区外からの入学割合が増加している。(＜参考＞R4年度 3年：36.8%、2年：42.8%、1年：46.8%)

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- 1 中学生に支持され、地域や保護者から信頼される魅力ある学校づくり
- 2 知・徳・体の基本を身に付け、学習を中心とした学校生活に主体的に取り組むことで自分自身の将来を切り拓いていくことができる生徒の育成
- 3 個々の生徒に真摯に向き合い、最適な教育や支援を協働して行える指導体制の強化

○令和4年度の学校経営目標・計画

- 1 学力向上…学習習慣の確立と「わかる」授業づくりへの工夫
計画：教科や年次で学習方法や家庭学習時間の目標値を明示し、手帳の活用を促したり、課題を工夫したりして、学習習慣の確立を図る。
1人1台端末の活用方法の研究と実践や授業参観を行い、「わかる」授業づくりに努める。
- 2 コミュニケーション能力の向上…地域連携教育等による協働的な体験学習の推進
計画：協働活動を通して、マナーや社会性を身に付ける。
総合的な探究の時間をはじめとする探究活動などを通して、表現力・協働力を育む。
地域の企業や各種団体と連携・協働し、教科等の指導を推進するとともに、インターンシップやボランティア、地域イベントへの参加など生徒が地域で学習・活動できる場を提供する。
- 3 生徒支援の充実…積極的な生徒理解と援助及び部活動の推進
計画：様々な場面を通じて生徒理解に努めるとともに、教育相談や進路相談等を通して個々の生徒が課題を解決し目標をもって充実した学校生活を送れるよう支援する。
部活動においては、他校(近隣中学校を含む)との合同練習などに努め、一層の活性化・充実を図る。